

地域連携推進室の開設にあたって

田谷医院の役割と機能

当院は市内唯一の泌尿器科専門の診療所です。地域の期待に応えたいと研鑽を続け泌尿器科疾患の治療を行っています。また、手術・医療機器・薬に限らず、患者様の悩める心、あるいは家族や関わる全ての人のニーズに応えるべく、人材・設備・情報の整備を続けています。

患者様の病気は泌尿器科だけではないため、合併症や既往歴によって当院の領域を超える場合には、近隣の医療・福祉施設と緊密な連携をとっていきます。

☞泌尿器科診療☞

泌尿器科の専門性を十分に生かし、患者様により良い医療を提供します。

手術・入院設備を整える当院では、軽症なものは外来で、重症（麻酔等を要する根治的な治療など）は病棟で対応しています。

一方、患者様の身体的状況や、利便性も考慮して他の医療機関への紹介も行っています。また、臓器移植といった分野については、中核病院にその役割を委ねています。

☞透析治療☞

透析という長期治療の特殊性から、技術だけではなく、その患者様やご家族との人間関係、誠実に向き合うことでのみ築かれる信頼関係を大切にしています。また、透析患者様のニーズを的確に捉え、社会生活を継続できるためのサポートを行います。

☞訪問診療☞

在宅医療サービスの一つで、主治医が計画を立て、患者様の自宅を定期的に伺い患者、ご家族様のサポートを行います。基本的に主治医1名、看護師1名が訪問します。患者様の病状に応じて訪問する頻度に違いはありますが、通常は月2回程度です。病状によっては毎日訪問する場合もあります。また、定期の訪問診療以外に、急な症状が出た場合、臨時の往診にも対応しています。日曜・祝日・夜間または緊急時に備えて24時間体制で対応しています。泌尿器という特殊性を持った当院では、尿道カテーテルの交換も行っています。訪問の際には、患者様の体調はもちろんのこと、ご家族様の心のケアもさせていただきます。

☞ショートステイ（短期入所）☞

ショートステイと呼ばれる介護予防短期入所療養介護は、冠婚葬祭や旅行などで一時的に介護ができない場合や介護に携わっているご家族が病気になった場合などに利用して頂ける介護サービスです。例え介護が困難な場合だけでなく、ご家族の負担を軽減するためにも利用していただくことにより、介護者が共倒れになることを防ぎ、その結果、在宅介護を長期間続けていくことが可能になるかと考えています。

☞訪問看護ステーション小松☞

訪問看護は、ご家族で患者様がより安心して療養できるよう、在宅看護についての専門知識を持つ看護師が支援を行っています。訪問看護サービスの内容としては、診療の補助・療養上のお世話（入浴介助・身体の清拭・洗髪・食事の介助・排泄の介助など）・リハビリテーション・終末期看護を行っています。主治医の指示に従い、患者様に合った援助を行います。また、24時間の電話連絡体制を整えており、必要に応じて、緊急時の訪問を行っています。主治医・ケアマネージャー・関連機関と速やかに連携をとり対応しています。

☞訪問栄養指導☞

通院が困難な患者様や、特別な治療食が必要な患者様に、専門的な知識を持つ管理栄養士がご自宅まで訪問し様々なご相談や、支援・指導を行うサービスです。患者様の栄養状態を評価し、適切な量と内容を提案するとともに、食形態のご提案もいたします。また、必要に応じて主治医・ケアマネージャー・関連機関と速やかに連携をとり対応していきます。

☞デイケアセンターおれんじ☞

利用者の方々に、楽しい一日を過ごしていただけるよう、心のこもった丁寧なケアを心掛けています。利用者に合ったリハビリメニューと目標を設定し、個別対応を積極的に行っています。利用者の実生活を想定した中で、現実に即したリハビリを行っています。利用者の意思を尊重し、利用中の活動はご本人が選択できるようにもしています。これにより、社会復帰の体力と作業能率を維持、向上が可能です。

☞居宅介護支援センター☞

自分らしく、住み慣れた自宅で安心して暮らしたいと願われる患者様を応援します。介護認定を受けられたご本人の意思をまず第一に、そして、ご家族を支えることや、関係者との調整を行います。また、当事業所ケアマネージャーの持つ専門性を活かし、リハビリや介護の相談にも応じます。地域の行事の一環として、介護教室開催（介護保険制度の説明、腰痛予防体操、栄養指導等）も無料で承ります。

田谷医院地域連携推進室の開設

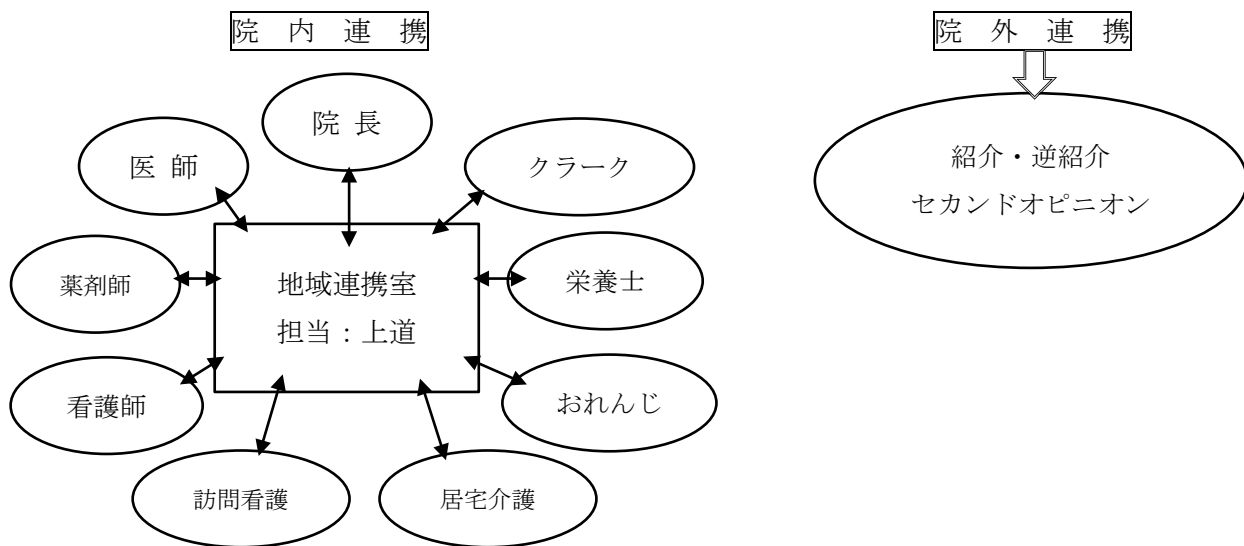
- ★ 泌尿器科診療について紹介された患者様に対して、常に最高の医療をスムーズに提供する体制を整えていくこと。
- ★ 泌尿器科領域ではない疾患については、患者様に苦痛と不安を与えることなく、また他施設にスムーズに依頼できる体制を整えていくこと。
- ★ 患者様との窓口として、患者様の声に耳を傾け、不安を取り除き、信頼関係を築いていくこと。

田谷医院の地域連携推進室の役割

暖かな患者様サービスを心掛ける

目的

- ① 地域の皆様の役に立てるよう、病院・診療所・クリニック・福祉関連施設との円滑な連携を図る為の窓口となる
- ② 院内連携を密にとり、情報の共有を図る
- ③ 当院から紹介した患者様のその後の経過を把握する
- ④ 紹介を受けた患者様の経過を把握する



主な院内連携業務（師長・主任・居宅・訪問看護師・おれんじ相談員・医事科と連携）

病棟

- ① 他院への紹介（検査・診察予約）
- ② 施設からの入院受け入れ→退院支援
- ③ 入院患者の介護状態、介護支援を受け入れている場合→ケアマネに連絡

- ④紹介状・返書管理（確実な返書）
- ⑤入院患者の転院時の相談。連絡調整。在宅療養相談。

- 透析**
- ①導入患者の受け入れ、紹介病院との連携
 - ②合併症等に対して診察・検査予約の依頼
 - ③入院患者の退院・在宅療養支援
 - ④長期透析患者の生活支援
 - ⑤紹介状・返書管理（確実な返書）

- 外来**
- ①医療・福祉相談
 - ②施設や他病院からの紹介患者の受け入れ
 - ③検査・診察・認定調査の予約
 - ④紹介状・返書管理（確実な返書）

- 全体**
- ①紹介患者数の把握
 - ②逆紹介患者数の把握
 - ③患者クレームの対応
 - ④広報活動